



登録作業

生体認証は、登録時と認証時の状態をなるべく同じにすることが重要ですので、最初の登録を正しく行っておけば、その後の認証もスムーズに進みます。

登録が曖昧な状況で行われていた場合や正しく指を置いても認証が通りづらいような場合は、登録からやり直すことをお勧めします。



認証に適した指

基本的には、人差し指、中指、薬指が静脈認証に適しています。

ただし、すべての人、すべての指で静脈パターンが異なるのと同じように、上記のいずれかの指であっても、認証が通りにくいことがあります。

また、怪我をしたり、絆創膏などをして認証ができなくなる可能性もありますので、各ユーザーの複数の指を登録するようにしてください。



指の置き方

登録、認証ともに、血流を阻害しないように指を軽く触れる程度で静脈認証機器に置いてください。

別紙「認証しやすい指の置き方」も併せてご参照ください。



補助ツール

ユーザーの指置きを安定させるためのオプションを用意しております。詳しくは担当者までお問い合わせください。



FVA-U3SX用置き台



FVA-M2STユニット加工



FVA-M2ST用指ガイド

指置きプレート/指置き検出部

静脈認証機器は、電源投入時や接続時にセンサーの感度補正を行います。

電源投入時や接続時にセンサー(右図参照)に触れていると誤った補正值が保持されてしまい、認証時に指を置いたことを検知できなくなりますので、使用開始時には、この部分に触れないようにしてください。



明るい場所での使用

静脈認証機器は近赤外LEDを使用しているため、直射日光の当たる場所など、非常に明るい場所では正常に動作しない場合があります。動作保証照度は、3000ルクス(蛍光灯下)までです。

登録時はもちろんのこと、認証時にも直射日光はなるべく避けてご使用ください。

アース

静脈認証機器は静電センサーを使う関係上、大量の静電気や電源ノイズが発生している環境では動作が不安定になることがあります。

ホストコンピューターの電源は可能な限り、右図のようにアース線をコンセントのアース端子に接続するようにしてください。

